熊調発第１５５号
平成２８年８月１６日

各土地家屋調査士会会長　様

熊本県土地家屋調査士会
会長　吉田　末春

御 礼（現状のご報告）

猛暑の頃、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、本年４月に発生しました熊本地震に際しましては、丁重なるお見舞いと多くの励ましのお言葉をいただきまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

去る、４月１４日・１６日に震度７の地震、６月２０日には集中豪雨もありましたが、幸いにも本会会員には人的被害はありませんでした。最近は地震から約４か月が経過し、日常生活及び業務に落ち着きを取り戻しつつあります。

現在、熊本会では市町村役場に罹災証明発行の為の現場調査随行員を派遣しております。

また、調査士会内に「熊本地震境界対策委員会」を設置し、地震後の官民境界について市町村の立会担当者からの質問を受付け、一緒に協議しております。

今後も皆様からいただきましたご厚情を有り難く受けとめ、熊本県土地家屋調査士会一丸となって、熊本の地域復興・再生のために邁進していく所存でございますので、今後ともご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

追伸、熊本地震の惨状を記録した写真集が地元「熊本日日新聞社」から出版されましたので同封いたします。今後、熊本会では今回の地震を調査士目線で見た記録誌を作成予定でありますので、その折にはまたご連絡致します。